

1 教科書 38 ページを声に出して読みましょう。

(1) 3人で同じ数ずつ分けると、1人分は何まいになるかを表す式をかきましよう。

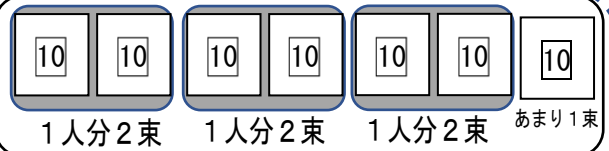
式

教科書 39 ページの説明を見て、□にあてはまる数をかきましよう。

(2) $72 \div 3$ の計算のしかたを考えましよう。

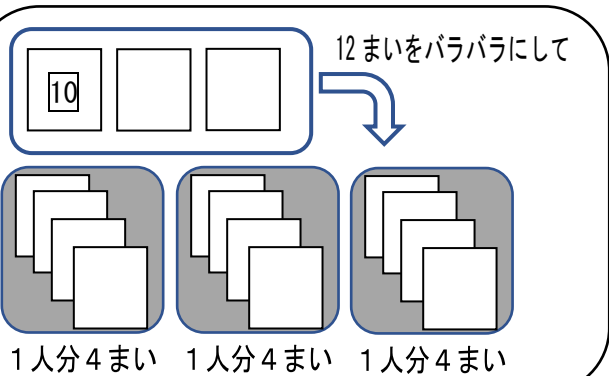
① 10の束7つを3人で分けると、

$$7 \div 3 = \square \text{ あまり } \square$$



1人分は2束で、1束あまる。

② あまった1束と2まいをあわせて12まい。

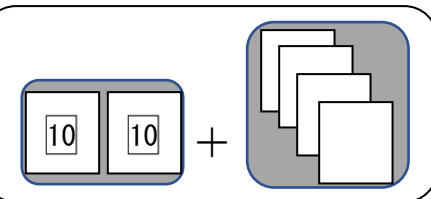


③ 12まいを3人で分けると

$$\square \div \square = \square$$

1人分は4まい。

④ 1人分の色紙は、①の2束と③の4まいをあわせて、 \square まい。



$$72 \div 3 = \square \text{ 答え } \square \text{ まい}$$

わり算の答えを^{しょう}商とといいます。

2 わかったことやもっと知りたいことを書こう。

～1けたの数でわるわり算の筆算のしかたについて考えていこう～

1 72÷3を筆算でしましょう。

教科書 40・41 ページの筆算のしかたを読んで、筆算の手順を知ろう。

72 ÷ 3 の筆算の手順:

- 7 ÷ 3 で 2 をたてて
- 3 に 2 をかけて 6
- 7 から 6 をひいて 1
- 2 をおろす

12 ÷ 3 の筆算の手順:

- 12 ÷ 3 で 4 をたてて
- 3 に 4 をかけて 12
- ひく

たてる → かける → ひく → おろす → たてる → かける → ひく

おろすものがなくなるとおわり

2 教科書 40・41 ページを見て、72÷3の筆算の手順を声に出して読みましょう。

3 まとめです。次の () にあてはまる言葉や数をかきましょう。

ア. わり算の筆算は () 位から計算する。
 イ. わり算の筆算は、() → () → () → () の手順で計算します。

4 教科書 41 ページ $\triangle 3$ の問題を筆算でしましょう。筆算のしかたを言いながら解きましょう。

① 68÷4	② 96÷6	③ 84÷7	④ 70÷2
4) 68	6) 96	7) 84	2) 70

1 教科書 42 ページ 4 の問題を声に出して読みましょう。

(1) どんな式になりますか。

式

(2) 教科書 42 ページを読み、あまりのあるわり算の計算のしかたを知ろう。

$\begin{array}{r} 2 \\ 4 \overline{)93} \\ \underline{8} \\ 1 \end{array}$	$\begin{array}{r} 2 \\ 4 \overline{)93} \\ \underline{8} \\ 13 \end{array}$	$\begin{array}{r} 23 \\ 4 \overline{)93} \\ \underline{8} \\ 13 \end{array}$	$\begin{array}{r} 23 \\ 4 \overline{)93} \\ \underline{8} \\ 13 \\ \underline{12} \\ 1 \end{array}$
9÷4で 2を たてて	4に2を かけて8 9から8を ひいて1	3をおろす	13÷4で、3をたてて 4に3をかけて12 13から12をひいて1

 人に分けられて、 まいあまる。

2 教科書 42 ページの 5 の
答えのたしかめを読みましょう。

※このようなときは23を商とといいます

$$\begin{array}{r} 93 \div 4 = 23 \text{ あまり } 1 \\ \downarrow \quad \downarrow \quad \downarrow \\ 4 \times 23 + 1 = 93 \\ \text{わる数} \times \text{商} + \text{あまり} = \text{わられる数} \end{array}$$

3 教科書 42 ページの △ の計算をして、答えのたしかめもしましょう。

④～⑥はノートなどにやりましょう。

①	②	③
$\begin{array}{r} 14 \\ 5 \overline{)73} \\ \underline{5} \\ 23 \\ \underline{20} \\ 3 \end{array}$		
答えの たしかめ		
$5 \times 14 + 3 = 73$		

4 まとめです。次の () にあてはまる言葉や数をかきましょう。

ア. 「 $54 \div 4 = 13$ あまり 2」というわり算では、商は ()、
あまりは () です。

イ. あまりのあるわり算の筆算の答えをたしかめる式を言葉で表すと、
() \times () + () = わられる数 となる。

1 教科書 43 ページ 7 の問題を声に出して読みましょう。

教科書 43 ページの筆算のしかたを読んで、筆算のしかたを知ろう。

3		3		3 4		2		2 0		2 0
2) 6 8	2) 6 8	2) 6 8	4) 8 3	4) 8 3	4) 8 3	4) 8 3	4) 8 3	4) 8 3	4) 8 3	4) 8 3
	6	6		8	8		8		8	8
	0 8				3					3
										0
										3

この0は
かかなくていい

2に3をかけて6
6から6をひいて0
8を**おろす**

3は4で
われないから
0を**たてて**

4に0をかけて0
3から0をひいて3

2 教科書 43 ページ 8 の問題を筆算でときましょう。④～⑥はノートなどにやりましょう。

①	②	③
2) 6 2	4) 8 4	3) 3 9

3 54cmの長さのひごがあります。
5 cm の長さのひごが何本つくれて、何 cm あまりですか。

筆算をしましょう。

式

)

答え 本つくれて cm あまる

4 まとめです。次の () にあてはまる言葉や数をかきましょう。

- ア. $68 \div 2$ のようなわり算では、十の位に3を たてて、6から6を ひいて 0になります。この場合、0は () いです。
- イ. $83 \div 4$ のようなわり算では、一の位が $3 \div 4$ となり、われません。この場合、一の位には0を () 。

